

4年度 予算

一般会計予算額は 191億8,100万円

— 前年度比3億5,000万円(1.8%)減 —

令和4年度各会計別の予算総額(1万円未満四捨五入)			
一般会計		191億8,100万円	
特別会計	国民健康保険	31億9,098万円	
	後期高齢者医療	3億2,331万円	
企業会計	水道事業	収益的収入	5億7,822万円
		収益的支出	5億5,395万円
		資本的収入	2億1,125万円
		資本的支出	5億3,396万円
	下水道事業	収益的収入	11億4,403万円
		収益的支出	10億6,768万円
		資本的収入	4億8,309万円
		資本的支出	9億6,753万円
	病院事業	収益的収入	16億 347万円
		収益的支出	18億3,493万円
		資本的収入	2億5,380万円
		資本的支出	2億7,425万円

令和4年度の予算は、3月8・9・10・14・15日の5日間、予算特別委員会を開き、審査しました。同委員会では一般会計と2特別会計、3企業会計を原案のとおり可決すべきものと決定。第1回定例会最終日の3月18日本会議で全て原案のとおり可決され、令和4年度の予算の使い道が決まりました。ここでは、予算特別委員会での質疑や4年度の主な事業などを紹介します。

予算特別委員会での主な質疑

Q 3月8日にハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンを市の三役と議員で現地視察した。同校の説明では、ハロウィンスクールは地元への好影響として、固定資産税などの税収増加につながるのとこのことだ。学校法人への課税基準、固定資産税などをどう評価し試算しているか。

A ハロウィンスクールの建物は、民間の会社が所有し、学校法人に貸し付けする方針である。そのため学校法人などに規定する免除の対象にならず、通常の固定資産税が課税される。他には、先生方などが住所を移した場合に市民税が課税される。滞納繰越金が数カ所に計上されているが、コロナ関係で経済が停滞し、今後滞納額が増加すると思われる。納税対策をどのように考えているか。

A 滞納繰越金については、令和3年度のコロナ徴収猶予金が増加している。1年間の猶予規定であることから、滞納者に丁寧に説明し、計画的に納めていただく。公有財産購入費の西根総合支所移転先土地購入費、同建物購入費の面積と購入後の移転時期、計画はどうなっているか。

A 大更駅前の旧JA支所の土地を4年度に購入する。西根総合支所の機能を総合的に検証し、5年度に施設の改修整備などを計画している。令和6年4月にこだわらず、準備が整い次第開設を考えている。

Q 結婚に伴う経済的な負担軽減のため、新婚世帯に対して家賃などの支援は。

A 国の補助事業を活用し、29歳以下の5組に60万円、30歳以上で39歳以下の3組に30万円を支援する。

Q ウクライナ問題で欧州が大変な事態になっている。安代りんどう海外活用事業のルワンダでの出荷状況は。

A 昨シーズンは、ヨーロッパに103万本ほど輸出した。内外の諸情勢の影響は少なく、前年の約18%増で推移している。八幡平メディテックバレー推進事業負担金、約3500万円の使い道は。

A 今年度採択された地方創生推進交付金2分の1の補助を活用し、田山地区の診療所の遠隔診療や見守りなどを行う。バックカントリー環境整備事業の内容と、コロナ禍での利用者の見込み数をどう捉えているか。

A 市の補助対象はコース整備、ゲレンデの草刈りのほか、雪崩の危険性の雪観測や監視である。外国人客に人気がある商品だが、コロナ前の約6割となっている。

Q 文化財保護法改正で観光と一体となった文化財保護、活用の在り方が規定された。市内の連携体制はどう行われているか。

A 昨年4月の機構改革で文化スポーツ課とまちづくり推進課を設置し体制を整えた。市内全般について企画経営会議的なものを立ち上げ、少人数で横断的な検討ができるように取り組んでいきたい。



冬季の凍結による陥没ひび割れ

道路等維持補修事業

【予算額】1億24万円

【事業内容】 冬季の凍結や車両通行による道路付帯構造物の破損箇所の補修など市道維持管理および改修を行う。



見守りサービス「Hachi」

起業市民プロジェクト事業

【予算額】3,920万円

【事業内容】 市内で起業した事業者を支援し、医療などの先端技術産業の集積を図るメディテックバレーを推進する。



日本一の生産量「安代りんどう」

花き品種開発事業

【予算額】4,083万円

【事業内容】 日本一のリンドウ産地として、高品質な「安代りんどう」の生産および市場占有率拡大を図る。



なかやま温泉館

高齢者等温泉館管理運営事業

【予算額】5,668万円

【事業内容】 「七時雨憩の湯」、「なかやま温泉館」、「綿帽子温泉館」の管理運営を行う。



交通安全を呼び掛ける風景

交通安全普及推進事業

【予算額】631万円

【事業内容】 交通安全啓発を季節に合わせて、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊などと協力して実施する。



ふるさと納税パンフレット

ふるさと応援寄附金推進事業

【予算額】1億5,788万円

【事業内容】 八幡平市の魅力全国に発信し、寄附金を受け入れ、寄附者に対して返礼品の贈呈を行う。

【反対討論】 工藤 多弘 議員(無会派)

はじめに、大更駅前顔づくり施設の実施設設計以外の予算には反対ではない。また、今議会の一般質問の市長答弁で「4階建てありきではない」との答弁もあったことから、予算特別委員会では賛成した。しかし、私が考えている施設への見直しは期待できないことや約1億4千万円の施設実施設計業務委託料を計上しながら「大幅な見直しをする」という市長の答弁は矛盾しており、この段階での予算計上は時期尚早である。さらに、一番重要なことは市民の皆さまの「図書館は今あるもので十分、その分のお金を困っている多くの市民のため、市民生活の向上に使ってほしい」との声を議会を通して行政に伝え続けることが、私の議員としての使命と考え、本会議では反対する決心をした。

【賛成討論】 勝又 安正 議員(八起会)

令和4年度一般会計予算総額191億8100万円となり、前年度対比で3億5千万円減、率にして1.8%の減、主な要因は統合保育所整備事業費の減、繁殖育成センター整備事業費の減、地方債償還元金の減などによるものである。一方で企業誘致推進事業費や体育振興事業費などは増となっているが、新規市債発行額見込みの減などにより、市債の住民1人当たりの残高見込みは前年度より6万3千円減の65万3千円となり、着実に借入額を減らし、市民への負担が軽減されている。第2次八幡平市総合計画に基づき、施策目標の実現のため、新型コロナウイルス感染症対策や少子化対策として出産祝金支給事業など、限られた財源を効果的に配分しており、高く評価される内容である。

【反対討論】 米田 定男 議員(日本共産党)

主な理由は次のとおりである。一つ目は、駅前顔づくり施設実施設計業務委託料が計上されていること。成果が見通せないままの巨額の投資ではなく、的確な事業内容を作り上げることが最優先である。二つ目は、ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンへの1.6億円の補助金について必要性や金額の根拠が示されていないこと。議員として無条件の黙認という態度をとれないのは当然である。三つ目は、国保税の子どもへの均等割賦課は、税の趣旨からいって容認できない。所得ゼロの者に対して税を賦課するのは、税による格差拡大である。四つ目は、学童保育支援員の賃金引き上げ措置が9月までとなっている。貧困克服という政治の課題に逆行した予算と指摘せざるを得ない。

【賛成討論】 井上 辰男 議員(八起会)

令和4年度一般会計予算総額は、前年度対比で3億5千万円減の191億8100万円となった。主な要因は、地方債償還元金の減などによるものである。昨年10月に就任した佐々木市長の初めての予算編成であり、随所に市民の安心安全な暮らしの実現に取り組む姿勢がうかがわれている。子育て世代への支援策として、出産祝金1人50万円の支給や平館高校入学者への1人3万円の制服代補助など、人口減少対策の一環としても高く評価できる。また、市の借金でもある市債は前年度より19億256万円減の158億2653万円を見込むなど、次世代に負担を残さず、限られた財源の中で、市民が求める施政を1つ1つ着実に達成していくものと大いに期待する。



新小屋の沢配水池

統合事業配水連絡管整備事業

【予算額】 5,290万円

【事業内容】 安定した水道水の供給のため新小屋の沢配水池から配水連絡管を敷設する。



八幡平市博物館前にある漆室

文化財保護事業

【予算額】 534万円

【事業内容】 日本遺産に認定された安比川流域の漆文化について、調査・研究を進め、保存・活用を図る。



岩手県立平館高等学校

平館高等学校教育振興事業

【予算額】 563万円

【事業内容】 教育支援、部活動の強化、進路指導などの支援を行う平館高等学校教育振興会の事業に対し補助を行う。